

鼓童文化財団研修所

鼓童の舞台を花にとえれば、研修所のカリキュラムは、その「根」を育み、自分たちの心身を耕してゆく取り組みです。舞台に直結する、太鼓や踊りや笛・唄などの稽古はもちろん研修生活の大きな柱。それと同時にこの研修所で大きな学びとなるのは、芸能の源である自然と、その中で育まれた人々の暮らしです。そんな2年間の研修生の色濃い実体験の様子を写真でご紹介します。



祭



- 4月 2年生が地元・柿野浦の鬼太鼓衆に加わり、研修所に門付け。13日間、地元の方々に毎晩神社で稽古をつけていただき、迎えた祭りの1日。集落を奏ぐ祭りの喜びを身体いっぱい味わう。
- 柿野浦の祭り前日の準備。作業をしながら、地域の様々なことを教わる。
- 沢山の芸能が繰り出す8月末の小木祭り。時には衣装を借りて参加させていただき、地域や人による芸能の違いを体感する。
- 9月 岩首集落の祭り。2週間の稽古を経て1, 2年生が参加。集落の若者が力を振り絞って祭りの鬼役を果たす姿に、肩を組み、喉をからしてかけ声する研修生。
- 遠足に来てくれた近隣の小学生達との交流。太鼓や、歌って身体を動かす楽しさを工夫して伝える。
- お盆で帰省した方々も多く集まる、岩首夏祭りで演奏。各地から佐渡に勉強しに来た研修生達へと…温かい拍手をいただく場面。
- 毎年交流を深めている、新潟市の「日本自然環境専門学校」の皆さんの力を借りて、地元の方と共に柿野浦の竹林整備を行なう。



地域交流



稽古



- 山桜がほころぶ5月。裸足で大地を捉えて、岩手の郷土芸能「鬼剣舞」の稽古。踊りに必要な足腰にはまだまだこれからの1年生。
- 鼓童講師／見留知弘の「屋台囃子」の稽古。
- 外部講師／狩野泰一さんの笛の稽古。



小木三崎地区 海の景観 (写真: 前田聡子)

2014年度 鼓童文化財団「地域づくり」コース

- 実習期間 2014年4月~2015年1月 (10ヶ月)
- 主な実習フィールドおよび寄宿施設
佐渡・小木三崎地区/旧深浦小学校校舎
※小木三崎: 佐渡の南西端に位置する「小木半島」の別名。鼓童村もこの地区にあります。
- 実習生募集定員 3名
- 応募資格
・18歳以上 (2014.4.1現在) で実習および共同生活に適応できる体力と精神力を持った健康な人。年齢の上限はありません。
・性別、経験、学歴、国籍は問いません。
・実習で使われる日本語を、理解できる力を身につけていること。
- 応募期間 10月1日 (火) ~11月20日 (水)
- 実習内容 (予定)
・小木三崎地区の一次産業の実習、実践
・地域コミュニティを支える集落の祭りや行事への参加
・暮らすためのものづくり
・小木三崎地区の地域資源や文化、伝統技術などの調査
・地域のイベントのお手伝いや運営補助、情報発信
・鼓童文化財団関連施設やイベントでの運営スタッフ
・座学 (佐渡の自然、文化、歴史をはじめ、集落について) など

両コースのお問い合わせ

- 鼓童文化財団「地域づくり」コース 試行第一期実習生
佐渡太鼓体験交流館 (たたこう館) 担当: 上之山、菅野
Tel. 0259-86-2320 Fax. 0259-86-2385
Email: chiiki@kodo.or.jp
- 鼓童文化財団研修所「太鼓芸能集団 鼓童」
メンバー養成コース 研修生
鼓童文化財団 担当: 石原、本間
Tel. 0259-81-4100 Fax. 0259-86-3631
Email: kenshujo@kodo.or.jp

二〇一四年度 鼓童文化財団「地域づくり」コース 試行

鼓童の研修生制度は一九八五年に始まり、一九九七年からは二年制になり、鼓童の舞台メンバーを養成すると共に、広く社会一般に貢献できる人材を育成するため、様々な年齢、目的の人を受け入れてきました。その中で、佐渡の自然や文化・地域の人々と触れ合ったことで、自分の生まれた土地を元気にしたいと地元に戻ったり、佐渡の土地と人が好きになり、地域の芸能に携わりながら佐渡に暮らし始めるような若者も送り出してきております。

鼓童文化財団では、これまでの研修所運営で培ってきた経験を活かし、二〇一四年度より、鼓童の舞台メンバーを目指す

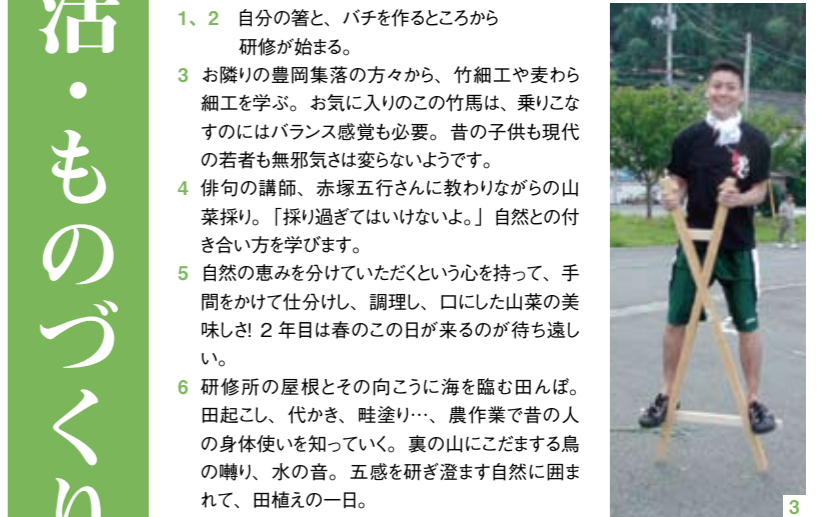
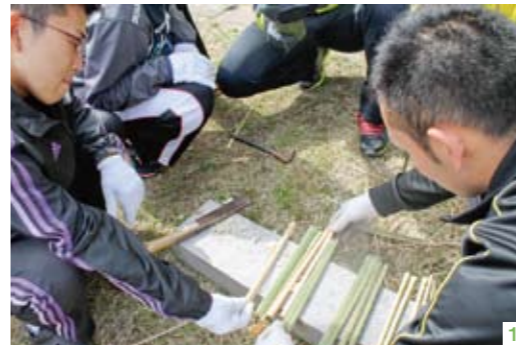
コースとは別に、佐渡の自然や文化の中で学んだ経験を、佐渡や各地の地域振興のために活かせる人材を育成する「地域づくり」コースの開設に向けた一歩を踏み出します。

「地域づくりを担う人材を育てるためには、どのような研修プログラムが必要か」、更には「地域づくりとは何か」「地域づくりの人はどのような自立できるか」という根本となる課題に対して、実践を通して向き合っていくことから始めたいと考えています。

私たちと共に、地域に学び、「地域づくり」コース開設に向けた取組みに参加してみませんか。フロンティア精神あふれる

なお、現在の柿野浦の鼓童文化財団研修所は二〇一四年度より「太鼓芸能集団 鼓童」メンバー養成コースとなります。鼓童の舞台メンバーを目指す人には、更なる高みを追求できる研修環境を作り、その舞台創作活動の源泉となる自然と人の暮らしの学びを、地域づくりコースと連携しながら更に充実したものにしていきたいと思います。

佐渡の豊かな自然の中で、あなたの可能性を試してみませんか。



生活・ものづくり

- 1、2 自分の箸と、バチを作るところから研修が始まる。
- 3 お隣りの豊岡集落の方々から、竹細工や妻わら細工を学ぶ。お気に入りのこの竹馬は、乗りこなすにはバランス感覚も必要。昔の子ども現代の若者も無邪気さは変わらないようです。
- 4 俳句の講師、赤塚五行さんに教わりながらの山菜採り。「採り過ぎてはいけないよ。」自然との付き合い方を学びます。
- 5 自然の恵みを分けていただくという心を持って、手間をかけて仕分けし、調理し、口にした山菜の美味しさ! 2月目は春のこの日が来るのが待ち遠しい。
- 6 研修所の屋根とその向こうに海を臨む田んぼ。田起こし、代かき、畦塗り…、農作業で昔の人の身体使いを知っていく。裏の山にこだまする鳥の囀り、水の音。五感を研ぎ澄ます自然に囲まれて、田植えの一日。

十二ページの写真: 石原泰彦、編集部